

八王子市長

石森 孝志 様

八王子市議会公明党

幹事長 村松 徹



新型コロナウイルス感染急拡大防止の強化を求める緊急要望

1月30日、新型コロナウイルスの新規感染者数は国内で7万8,127人となり8万人を下回りましたが、東京都では1万5,895人が確認され、6日連続で1万人を上回り、日曜日としては最多となりました。極めて感染力の強い変異ウイルス「オミクロン株」がかつてないスピードで広がり、社会全体に大きな影響を与えています。

現在までに、政府は緊急事態宣言に準じた「まん延防止等重点措置」を34都道府県まで適用しました。

国は当初、オミクロン株患者は全員入院を原則とするよう都道府県に求めていましたが、感染者の急増で現実的に対応が難しく、宿泊・自宅療養も認める方針を通知する中、東京都は、入院、宿泊・自宅療養、いずれの人にも万全の体制を整えていくとの考えを示して取組を展開しています。一方、八王子市は、1月20日に「地域医療体制支援拠点」を再開するなど安心の医療体制を守るため日々奮闘されており、そのご尽力に心から敬意を表します。しかし、驚異的な感染拡大が不安と混乱を招いている現実もあります。

このような緊迫した現状を踏まえ、新型コロナ感染急拡大の局面において社会経済活動が停滞しないよう、迅速かつ有効な対策を求めて緊急要望を致します。

記

1. コロナワクチンの追加接種を迅速に進めるために、会場の増設や曜日・時間帯の拡大など接種体制の拡充に努めること。
2. 高齢者・障がい者・子育て関連施設の職員に対して、コロナワクチン接種を前倒しで実施する体制を構築すること。
3. 歩行困難な高齢者、障がい者など、コロナワクチンの集団接種会場へのタクシー利用を支援するため、タクシー券を支給すること。
4. 5～11歳のコロナワクチン接種については、正しい情報提供と丁寧な相談に努めるとともに、万全な接種体制を構築すること。

5. 高齢者施設等で感染が発生した場合など、感染者の特定による早期の隔離や有効な医療提供につなげるため、「PCR 検査車両」を導入し機動的な検査を行うこと。
6. 爆発的に増加している自宅療養者に対する支援として、パルスオキシメーターやウェアラブル機器を導入し、容体急変を瞬時に把握し機動的に対応できる体制を構築すること。
7. 自宅療養者（感染者や濃厚接触者）の生活を支えるため、買い物ボランティアのしくみをつくるなど、支援体制を強化すること。
8. 「子育て世帯に対する臨時特別給付」対象から外れた世帯の子どもに対し、市独自に支援金を支給すること。
9. 生活困窮の状況にある住民税課税世帯に対し、「住民税非課税世帯に対する臨時特別給付」の趣旨に鑑み、市独自に 10 万円を支給すること。
10. 市内消費の活性化とマイナンバーカードの更なる普及を目的に、市独自のマイナポイント付与を実施すること。
11. 長期化するコロナ禍により、地域コミュニティが脆弱化していることへの対策として、オンライン会議導入に関する支援、日常活動を立ち上げる相談体制の強化などを行うこと。

以 上